

第37回 市民医学講座

「女性が生涯 健康でいるために」
～知っておくべき病気について～

中川記念 ちか子女性クリニック 岡 村 智佳子

大崎市医師会主催の第37回市民医学講座では「女性が生涯健康でいるために」と題して婦人科疾患の中でも重要な4疾患について解説しました。働く女性が増加し、晩婚化、晩産化の傾向があり、平均寿命の高齢化により閉経後の人生も長くなってきた現代は、婦人科の病気に遭遇する機会も増加しています。

思春期から老年期まで女性はホルモンの変動が大きく、各年代で知っておいてほしい知識、疾患があります。「もっと早く知っていれば、一人で悩まずに受診したのに」という声は婦人科がかかりにくい診療科であるがゆえによく耳にします。そのような悩みの解決の一助になることを心掛けて、スライドを作成しました。紙面の関係上、講演スライドの一部を紹介します。

知っておくべき女性の疾患

- 1、子宮頸がん
- 2、子宮筋腫・子宮内膜症
- 3、不妊症
- 4、更年期障害

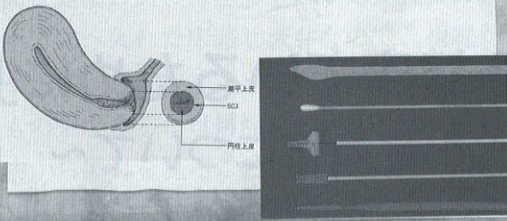
子宮頸がん ①どんな病気？

- 子宮の入り口付近(頸部(けいぶ))にできるがんで、HPV(ヒトパピローマウイルス)に感染することで引き起こされます。HPVは女性の80%が一生に一度はかかるありふれたウイルスです。
- 性行為によって子宮頸部まで届き、HPVに感染しても多くの場合は本人の持つ免疫力によって取り除かれますが(持続感染は10%)、発がんリスクの高いタイプに長い間感染すると、がんを引き起こします。
- 進行すると不正出血やおりものの異常などが現れますが、初期には自覚症状がほとんどありません。検診で発見することが多いがんです。

子宮頸がん ②診断方法

● 子宮頸部細胞診(子宮がん検診)

子宮頸部の細胞を採取する。診断精度が高く、採取が容易な検査方法。



子宮頸がん ③治療方法

● 前がん状態や粘膜の上皮内だけにがんが発生している初期段階では、粘膜をうすくそぎとるだけの簡単な手術で済みます(子宮頸部円錐切除術)。術後、妊娠出産も可能です。

● 進行範囲に応じて子宮摘出、抗がん剤・放射線治療などを行います。

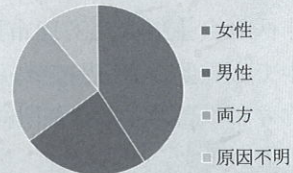
子宮頸がん チェックリスト

- 性行為の経験がある
- 不正性器出血がある(性交後出血、月経以外の出血)
- おりものの臭いや色、量に異常がある
- 子宮がん検診を受けたことがない

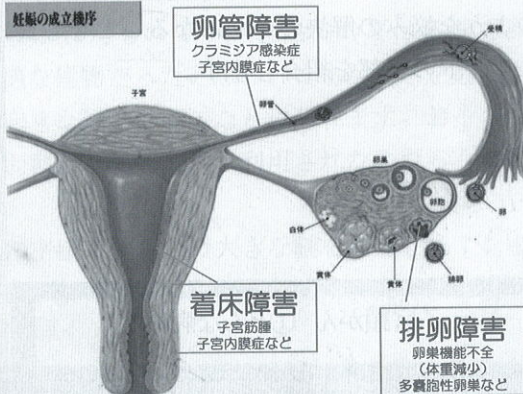
不妊症 ①どんな病気?

● 定義; 男女が妊娠を希望し1年間、避妊することなく性交を続けているのに妊娠しない場合

● 原因



妊娠の成立機序



不妊症②診断方法

- 超音波断層検査
- 基礎体温の測定
- 性病検査
- ホルモン測定
- 卵管通過性検査
- 精液検査(数、運動率など)

不妊症③治療

- 精子異常: 人工授精、体外受精
- 卵巣機能障害; 排卵誘発剤など
- 卵管通過障害; 腹腔鏡下手術
(癒着剥離、卵管形成術)
場合により体外受精など

不妊症 チェックリスト

- 1年以上、避妊せずに夫婦生活を送り、妊娠しない
- 月経不順、月経困難症状がある
- 性感染症の既往がある

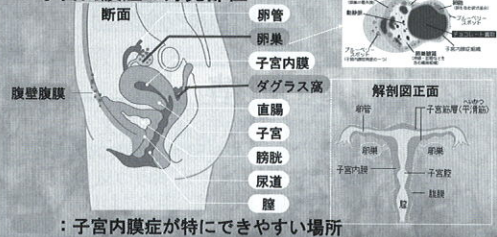
子宮筋腫 ①どんな病気？

- 子宮筋の中に発生する良性腫瘍
- 性成熟期の女性の20-30%にみられる
- エストロゲンの作用で増殖する
- 発生部位や大きさによって症状が違ふ
 - 月経痛
 - 過多月経、過長月経・貧血
 - 頻尿
 - 不妊症

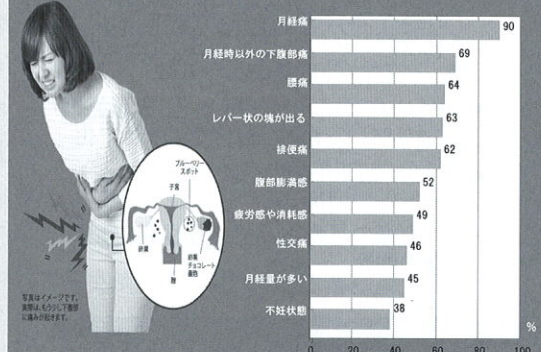
子宮内膜症 ①どんな病気？

- 子宮内膜の病気ではなく、子宮内膜が子宮の外に病変をつくることで症状が出る病気

子宮内膜症の好発部位



子宮内膜症の自覚症状



子宮内膜症②診断方法

- 内診
- 超音波断層検査
- 腫瘍マーカー検査(採血)
- 腹腔鏡検査(手術)

子宮内膜症③治療方法



子宮内膜症をめぐる問題

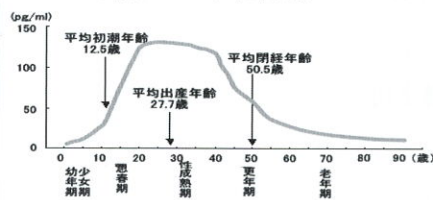
- 1、晩婚化、少産化が進み、女性ホルモンにより進行する子宮内膜症は増加してきている。
- 2、高度の月経痛などの月経困難症のため、日常生活や仕事への支障が大きいケースも少なくない。
- 3、月経困難症患者800万人のうち医療機関を受診しているのはわずか10%であり、受診をしないでいるうちに症状が進行し、不妊になったり、卵巣がんに移行することもある。

更年期障害①どんな病気

定義

「更年期に現れる多種多様の症候群で、器質的变化に相応しない自律神経失調症を中心とした不定愁訴を主訴とする症候群」

女性ホルモン「エストロゲン」の変化



更年期障害の症状は全身に現れます



更年期障害②診断

不定愁訴症候群

器質的疾患の除外

精神疾患の除外

更年期障害

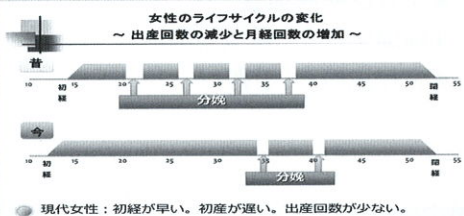
- 血管運動神経症状; のぼせ、発汗、寒気、冷え
- 泌尿生殖器症状; 排尿障害、性交障害、外陰部違和感
- 精神神経症状; 情緒不安定、イライラ、抑うつ気分
- 運動器、消化器症状; 腰痛、関節痛、手のこわばり

更年期障害③治療

- カウンセリング
- ホルモン補充療法
- 漢方療法
- 向精神病薬
(抗不安薬、睡眠剤、抗うつ剤)
- 鎮痛消炎剤

まとめ

ここ数十年で日本人女性のライフスタイルは激変しており、その変化に伴い発症しやすい疾患も変化しています。



ライフサイクルの変化と疾患

- 月経期間が長い＝子宮筋腫、子宮内膜症、子宮体癌、乳癌などの増加
- セクシャルデビューが早い＝子宮頸がん、クラミジア、淋病、梅毒などの若年化
- 晩婚化、初産年齢の高齢化＝不妊、合併症妊娠の増加
- 平均寿命の長寿化＝更年期障害、健康寿命の問題

おわりに

一生を通じて女性が健康でいるために特に重要な疾患について解説しました。

婦人科は受診しづらい診療科だと思いますが、早期発見・早期治療によって得られる恩恵ははかりしれません。

自分のからだや不調についてより正しい知識をもつことにより健康で充実した毎日を過ごしましょう。